

当院回復期病棟における入院時訪問導入前後の在院日数、FIM効率、FIM改善率の比較検討

研究の概要

平成26年度の診療報酬改定にて、入院時訪問指導加算の算定が可能となった。

当院においても入院時訪問指導加算の基準に基づいて、26年4月以降の入院患者に対して入院時訪問を導入し算定している。当院回復期病棟においては、以前まで退院前訪問として退院の約1ヶ月前に自宅訪問を行っており、自宅での動作確認や環境設定の調整等を行う目的が主であった。

今回入院してから7日以内という入院早期の期間に自宅訪問を行うことによって、具体的な自宅や自宅周囲の環境を早期に把握でき、病院でのリハビリテーション内容や病棟での日常生活動作にそれを反映できるようになった。そこで入院時訪問指導の有用性の有無を調査したい。

研究対象

平成26年4月以降、当院回復期病棟に入院し9月末までに退院した患者と、平成25年4月以降26年3月末までに入院し退院した患者

研究の意義

回復期リハビリテーション病棟における入院時訪問指導の有用性を明らかにしたい。

研究の方法

当院回復期にて入院している際に評価した**Functional Independence Measure**:機能的自立度評価表(以下**FIM**)をもとに、平成26年度4月以降、当院回復期病棟に入院し8月末までに退院した患者と、平成25年の同時期に入院し退院した患者の在院日数、**FIM**効率、入院から退院までの1ヶ月ごとの**FIM**改善率を、統計学的手法を用いて比較する。

基本情報・身体機能および社会的情報については以下のデータを使用する。

基本情報疾患名

年齢

回復期病棟入院期間内のリハビリ提供量

社会的情報

在院日数
自宅訪問実施日

身体的情報 FIM

共同研究機関なし

個人情報に対する配慮

入院中における検査目的として使用されたデータをもとに研究利用させていただきます。院内に保管している患者様の個人情報は、院外に出ることがないように厳重に保管しています。また、研

究に利用するデータは、患者様個人が特定されない方法で利用させて頂いています。患者様もしくはご家族様が、この研究へのご参加を希望されない場合には以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方のデータは本研究に利用しないように致します。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒510-0823三重県四日市市城北町8番1号 TEL 059-328-1260 FAX059-328-1921

主体会病院リハビリテーションセンター 理学療法士 泉沢祐樹